

住宅改良開発公社設立70周年記念
あしたの賃貸プロジェクト第6回シンポジウム

賃貸が変われば まちが変わる

2025 10/21 (火) 13:00-17:00

参加費無料 (事前登録制)

あしたの賃貸プロジェクトでは、これまで28事例の賃貸住宅における先進的な取組を取材し、賃貸住宅経営者の熱い思いが、まちと人のつながりを変えていくことを実感しております。本シンポジウムでは、「まちが変わる」その構造と効果を、理論と実践の両面からご講演いただきます。ぜひ、ご参加ください。

13:05-13:55 基調講演



大月 敏雄 氏
東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻
教授

『賃貸』からまちが変わる その構造と効果

21世紀にはいり、賃貸住宅の種類も次第に増えてきたように思われる。民間では、シェアハウスやゲストハウスのような多様な形態が広がりを見せ、また、制度的にはサービス付き高齢者向け住宅なども出てきた。さらに、施設の居住においても高齢者・障害者グループホームなどが出現している。こうした経緯を踏まえ、地域の構成要素としての賃貸住宅の意味、意義について考えてみたい。

13:55-14:15 海外レポート



松本 眞理
一般財団法人住宅改良開発公社
住まい・まち研究所長

英国の地域を豊かにするコミュニティ・インベストメント

英国のハウジング・アソシエーションやチャリティ団体は、住民が主役のコミュニティづくりを積極的サポートしている。その結果、コミュニティが豊かになり、様々な社会的課題も解決し、地域が豊かになる好循環を形成している。その仕組みを、ソーシャル・バリューやアワードの事例、実際の担当者の声も踏まえて紹介したい。

14:20-15:20 事例講演



内田 忠治 氏
宗像市
都市再生部長

ひのさと団地再生プロジェクト ～さとづくり48から始まる再生～ 団地再生からまちを変える ～日の里地区のまちづくり支援～

なぜ団地再生や地域再生が今後のまちづくりに必要か。人口減少や少子超高齢社会に対応するため、宗像市の官民連携の取組を通して、地域の価値と稼ぐ力を高め、住まいと暮らしの魅力を向上させた日の里地区で行っている団地再生の事例を紹介します。



牛島 玄 氏
西部ガス株式会社
都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
リーダー

交流拠点「ひのさと48」の運営とテナントさんとの関係性

50年前に建てられた団地1棟をリノベーションし、交流拠点として運営を行う「ひのさと48」。施設の概要や取組内容のご紹介と、施設に入居するテナントさんとの関係性や取組についてお話しします。



吉田 啓助 氏
株式会社大風
代表取締役

住まいがまちを育む ～賃貸から広がる地域づくりの可能性～

宗像市を軸に広域で活動する「ひのさと暮らしLABO」の実践を通じ、外部プレイヤーとの協働が施設価値を高め、地域価値を高めていくプロセスをご紹介します。賃貸だからこそ可能な柔軟性を活かし、「住まいを超えて、まちを育む」、賃貸から広がる地域づくりの可能性をお伝えします。

15:20-16:00 事例講演



影山 知明 氏
株式会社フェスティナレンテ 代表取締役
クルミドコーヒー／胡桃堂喫茶店 店主
ぶんじ寮プロジェクト 企画メンバー

ぶんじ寮ものがたり ～「まちの寮」という可能性～

全23室のシェアハウス「ぶんじ寮」は、一人一人が安心して自分のいのちを生きられ、周りとも健やかな関係を結べる場であることを起点に、まちの「多機能共用部」であることを実践。まちが寮に、寮がまちに相互浸透し、安心と冒険の拠点となっている。新しく自治会も発足し、法定通貨に頼らない経済循環も生まれている。

16:15-17:00 質疑応答&クロストーク

視聴者のみなさまからお寄せいただいた質問に、講演者が生で回答させていただきます。

主 催 一般財団法人 住宅改良開発公社
後 援 独立行政法人 住宅金融支援機構
一般社団法人 全国住宅供給公社等連合会
一般社団法人 プレハブ建築協会
公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会

ご参加には事前申込が必要です。

お申し込み締め切り: 10月20日(月) 23:59

最新情報はWebサイトをご覧ください。
<https://ashitanochintaipj.com/symposium6/>



YouTube
にて
ライブ配信